

第25回 アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2012

～初心者高専生、全国大会ベスト8へのキセキ～

電子制御工学科2年 美澤 晴太

2012年11月25日、東京国技館。全国大会の準々決勝戦。耳には割れんばかりの歓声が聞こえる。何を言っているのかわからない。一瞬、目眩のような感覚にも襲われた。右も左もわからない初心者8人で乗り越えてきた日々がフラッシュバックする。家に帰ってきてからも終わることなく、寝る時間も削ってネットで行ったアイデア会議、お互いの考えが伝わらず大喧嘩したこと、最後は追い込みで昼食も食わずにしたテストラン。突然、広い競技場に競技開始の笛が鳴り響く。今までの喧騒が嘘のように消える。ふと我に返り、



メカポンとメンバー

私の目は我がペットロボットメカポンを必死に追った。走者に向かって指示を飛ばし叫んだ。そして、気が付けば試合は終わっていた。

準々決勝、奈良高専「メカポン」VS 熊本高専八代「MooStar」の試合結果は「MooStar」の勝利であった。私達は完全に敗北した。しかし、私達はやれる



大会オープニングの様子

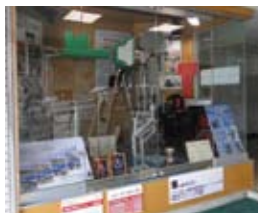
だけのことをやった。今、持てる力を出し切った。悔いはない。

次の瞬間、私の中で色々な「ありがとう」という思いが駆け巡った。私のわがままに文句を言いながらもついてきてくれたメンバー、未熟で生意気な私と正面から向き合ってくれた先生方、嫌われ役になりながらも助言し続けてくれた先輩、授業中にロボットの図面を引いていても見ないふりをしてくれた先生、みんなに対して心からありがとうという思いが溢れてきた。

奈良高専Bチームリーダーとして過ごさせていただいた一年間は、私の16年間の人生のなかで最も重要な年となった。

『ベスト・オブ・ロボコン大賞第1位』に選ばれました

今年度の高専ロボコンは25周年記念ということもあり、第24回(2011年)までの大賞受賞ロボットの中で、もっとも優れているベスト・オブ・ロボコン大賞の投票が行われました。奈良高専では、第7回大会(1994年)「スペースフライヤー」においてロボコン大賞を受賞した「Star King」がノミネートされ、見事ベスト・オブ・ロボコン大賞第1位に選ばれました。また、第25回全国大会でエキジビションやNHKスタジオパークでの高専ロボコン25周年記念イベントにも出展し、多くの方々から賛辞をいただきました。この「Star King」は本校の本館玄関にある展示室に展示されていますので、是非見に来てください。



本館玄関の展示室

ベスト・オブ・ロボコン大賞 投票結果

- 1位 Star King(1994 奈良高専)
- 2位 長岡鉄軍団(2000 長岡高専)
- 3位 vLo-city(2004 豊田高専)
- 4位 Fire Wall(2002 富山商船高専
現・富山高専 射水キャンパス)
- 5位 MACH-CHAN 1号(1998 旭川高専)

全国高等専門学校ラグビーフットボール大会 3位

～6年連続3位入賞～

マネージャー 情報工学科2年 西岡 祐希

物質化学工学科2年 西村 知華

1月4日から第43回全国高等専門学校ラグビー大会が、今年も神戸のユニバー競技場で開催されました。奈良高専は7年連続12回目の出場です。

今年の初戦の相手は久留米高専でした。初めは全国大会という緊張からか選手の硬さが目立ちましたが、後半開始直前の円陣で、選手の緊張が少しほぐれたように見えました。後半戦で2トライを追加し22-5で勝利を収めました。

準決勝の相手は、昨年も全国大会の準決勝で戦った仙台高専



(名取)でした。試合開始まもなく、仙台高専に先制トライを決められました。その後、仙台高専のペナルティにより、ゴールキックの権利を得ました。ペナルティゴールを落ち着いて決め、3点を返しました。しかし、仙台高専にも同じようにペナルティゴールを決められ、3-8で前半戦が終了しました。後半戦では選手たちの「勝ちたい」という熱い気持ちが伝わりましたが、トライを決めることはできず、3-13で試合が終了しました。

『チーム大山*』は近畿大会後の練習で飛躍的な成長を遂げました。特に、冬休みは5年生自らチームが強くなるための練習メニューを考え、チームの成長に最善を尽くしてくださいました。目標であった全国制覇はできませんでしたが、まだまだこれからの成長を見たいチームでした。

ご家族の方々、奈良高専OBの方々、先生方、また多くの関係者の方々、ラグビー部の活動へのご理解とご支援をありがとうございました。全国大会で味わった悔しさを忘れず、これからも日々の練習に取り組みたいと思います。

*キャプテン 大山晃平